

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	北杜市企業のはたけ倶楽部の制度構築と社会実験による運用
対象地域	山梨県北杜市の遊休農地
対象地域の概要	  【位置図】 【杜市須玉町の耕作放棄地】
提案内容の概要	北杜市内の遊休農地（649ha）活用を、企業との連携による遊休農地活用手法を仕組みとして構築することを目指す。また、北杜市ではリトリートの杜事業として、都市部の人々に北杜市に長期滞在してもらう施策を推進しているが、この施策とも連携し、企業職員に長期滞在してもらう観光的メリットの実現も図ることを目指す。
提案する活動の内容 （1）地域の課題	北杜市の耕作放棄地は649haとなり、山梨県内の自治体の中で最大となってしまう。（ちなみに、山梨県の耕作放棄率は、日本で第2位。）これは地域に農業の担い手が不足しまった結果である。北杜市では、集落営農組織を作り、農地の保全に努めているが、地域内で解決できる遊休農地面積を既に大きく超えてしまっている。そこで、平成20年度より、企業との連携で、遊休農地を活用する仕組みを作る活動を行っている。平成20年度の活動で、北杜の遊休農地の活用に関心を示す企業が中心となって、北杜市企業のはたけ倶楽部が15社で発足した。その一方で、課題となってきたのが、北杜市の地域の受け皿組織とコーディネーターの発掘、育成である。
（2）活動内容の案	活動①：地域の受け皿組織の発掘 - 北杜市の集落へのアンケートを実施する。 アンケート項目は、北杜市企業のはたけ倶楽部への参加意向、課題、要望事項等とする。 アンケート実施先は、中山間直接支払い集落159地域、農地水環境保全施策に取り組む11地域、担い手法人14とする。 - 参加意向の集落への訪問と事業説明 アンケートによって、参加意向を示した集落へ訪問し、事業内容を説明し、受け皿組織＝地域コーディネーター組織として登録認定を行う。 活動②：北杜市企業のはたけ倶楽部への加入 - 北杜市企業のはたけ倶楽部の企業アンケートの実施 昨年度の活動によって、企業の農地活用に対するニーズが、CSR活動、社員の農業体験学習、食品企業の安全安心な原料調達、新規農業参入といったものに分類されることがわかった。そこで、今年は、このニーズの中の食品企業の安全安心な原料調達に絞って、アンケートを実施する。なお、

	この企業アンケートは、東京丸の内、有楽町エリアで、三菱地所の協力のもとに実施する。アンケート実施方法は、直接配布、直接回収方法とする。 アンケート配布数は、200部とする。 2、アンケートの中で参加意向を示した企業に対する訪問と事業説明 アンケートによって、参加意向を示した企業へ訪問し、事業内容を説明し、倶楽部加入を促し、かつモデルマッチングツアーの告知を行う。
	活動③：北杜市企業のはたけモデルマッチングツアーの実施
	1、企業20社の参加による北杜市遊休農地の視察ツアーの実施 企業アンケート等により、関心を示した企業20社による、北杜市の遊休農地視察ツアーを実施する。視察ツアーの実施場所は、地域アンケート等によって、地域の受け皿組織として登録した地域3カ所である。
	活動④：北杜市企業のはたけ倶楽部の検討委員会の実施
	1、北杜市企業のはたけ倶楽部の内容や運用方法について、有識者の参加を得ながら、2回の検討会を開催する。検討内容としては、地域アンケート、企業アンケートを踏まえて、北杜市企業のはたけモデルマッチングツアーの実施方法、また昨年度の検討会で課題となった、北杜市の遊休農地を活用を支援する、行政、民間の連携による中間支援組織のあり方等である。
	活動⑤：北杜市企業のはたけ倶楽部会員企業の個別相談会の実施
	1、昨年度参加加入してくれた企業の個別相談会を実施する。 参加加入してくれた15社の企業のインターネット ML を作り、情報交換を行いながら、随時、個別相談会を実施する。
応募団体名	特定非営利活動法人えがおつなげて
リンク	http://www.npo-egao.net/
部局／担当者名	開拓館 岩崎政彦
連絡先	TEL0551-42-2845 / info@npo-egao.net
推薦市町村名	北杜市